

事務事業マネジメントシート(平成29年度実績と平成30年度計画)

平成30年 5月23日更新

事務事業名		狂犬病予防事業		<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	生活環境の健康	所属部	市民生活部	課長名	岡田 光弘
	施策	18	住環境の充実	所属課	環境衛生課	担当者名	吉原 裕人
	施策の柱	56	環境衛生の充実	所属班	環境衛生班	(内線)	1143
予算科目	会計一般	款 4	項 1	目 7	事業連番 10118	根拠法令	狂犬病予防法 合志市犬による危害防止条例
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 29年度で終了 <input type="checkbox"/> 29年度から開始			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		
				成果優先度評価結果		①	
				コスト削減優先度評価結果		⑥	

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	昭和25年に「狂犬病予防法」が施行され、飼い犬への予防注射が飼い主の義務とされたことから開始した。狂犬病予防のため、年1回の狂犬病予防注射の案内通知の発送と一生涯に1回の飼い犬登録・変更申請受付、鑑札交付、狂犬病予防注射済票交付事務、野犬捕獲、迷い犬の受付・保護等を行っている。
【業務の流れ】	予防注射通知の発送、集合注射時の受付、注射済票交付、新規登録・変更申請受付、台帳作成(電算システム入力・出力)、捕獲檻設置・撤去、野犬捕獲、迷い犬の受付・保護
【主な予算費目】	職員手当等、需用費、役務費
【意見や要望】	市民から野犬捕獲、迷い犬保護等の通報や糞、放し飼い等の苦情がある。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 29年度実績(29年度に行った主な活動) (DO)	狂犬病予防注射通知事務、集合注射時の受付事務、注射済票交付、新規登録事務を行った。野犬捕獲、捕獲檻設置・撤去、迷い犬の受付・保護をした。予防注射実績 2,542 頭、新規登録件数 206 頭	30年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 頭	予算の主な増減の理由
→ ア 予防注射済票交付数	イ 集団予防注射の実施時間数	職員手当、犬鑑札用消耗品費の減
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	犬	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
		→ ア 登録数 (単位) 頭
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	狂犬病発生の予防	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
		→ ア 狂犬病予防注射頭数/登録数 (単位) %
*③成果指標設定の理由と30年度目標値設定の根拠		総トータルコスト全体計画 ~ 年度
犬の登録及び狂犬病予防注射は狂犬病予防法に基づいて行われており、狂犬病の発生及び蔓延を防止することが重要であり、成果指標を「狂犬病予防注射頭数/登録数」の割合とし、前年度同様「65%」を目標値に設定した。		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	27年度実績(決算)	28年度実績(決算)	29年度目標(当初予算)	29年度実績(決算)	30年度目標(当初予算)	31年度予定	32年度見込	33年度見込
① 活動指標	ア 頭	2,542	2,307	3,000	2,346	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
	イ 時間	40	40	40	40	40	40	40	40	40
② 対象指標	ア 頭	3,951	3,849	3,850	3,118	3,150	3,150	3,150	3,150	3,150
	イ									
③ 成果指標	ア %	64	59	65	75	65	65	65	65	65
	イ									
投資入費量	国庫支出金	千円								
	都道府県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円	766	439	655	492	565	623	623	623
	繰入金	千円								
	一般財源	千円				30		2	2	2
(A) 事業費計	(A) 事業費計	千円	766	439	655	522	565	625	625	625
	(A)のうち指定経費	千円	99	93	147	90	94	128	128	128
	(A)のうち時間外、特勤	千円	99	93	147	90	94	128	128	128
人件費	正規職員従事人数	人	6	6	7	7	7	7	7	7
	延べ業務時間	時間	0	1,046	1,115	1,190	1,115	1,115	1,115	1,115
トータルコスト(A)+(B)	(B)人件費計	千円	0	0	4,442	4,707	4,442	4,442	4,442	4,442
	トータルコスト(A)+(B)	千円	766	439	5,097	5,229	5,007	5,067	5,067	5,067

事務事業名	狂犬病予防事業	所属部	市民生活部	所属課	環境衛生課
-------	---------	-----	-------	-----	-------

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は29年度の事後評価、ただし複数年度事業は29年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①29年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 老犬や室内犬の飼い主が、予防接種が必要ないと考えているため。 今後、広報等で未注射犬の飼い主に、予防接種が必要であることを知らせていく。
	②30年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 定期的な周知や狂犬病予防注射未実施者については可能な限り戸別訪問を実施する。
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 狂犬病の恐ろしさを市民に警告することで予防注射の全頭実施に向け努力中。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業なし
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 飼養犬が減少傾向にあることもあり、集団予防注射のやり方など見直すことも視野に入れていく。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 野犬捕獲・予防注射時の職員は、委託可能であれば正職員以外でも可能。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 狂犬病予防、畜犬関係から全市民に関係し公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 法律に基づき市が行う事業だが、狂犬病予防注射の実施等に関しては獣医師会の協力が必要不可欠である。

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																						